



人吉ロータリークラブ

The Hitoyoshi Rotary



通 算 2 9 7 1 回
2018年2月9日
第 2 7 回 例 会

ロータリー：変化をもたらす

2017-2018年度 R I 会長
イアン H.S. ライズリー

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505



人吉ロータリークラブ
ホームページ



f フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

本日の進行

- P1~2 会長の時間、幹事報告、寄付の申し出、出席率・会務報告、半期決算会計監査報告
第4期人吉RC奨学生決定報告
- P3~4 R財団地区補助金セミナー報告
R情報委員会卓話
ココ・R財・米山・人吉奨学寄付カード

点 鐘 井手富浩 会長

歌 唱 ソングリーダー 山田仁法SAA委員

国 歌 「君が代」
四つのテスト唱和
R S 「我らの生業」

司会・進行 新堀純子プログラム委員長

会長の時間 会長 井手富浩

皆様こんにちは。本日は来訪者はいらっしゃいませんので、会長の時間とさせていただきます。

2/4(日)の立春は過ぎたとは言え、北陸地方の大雪被害や人吉・球磨も氷点下の冷え込みで、まだまだ春は遠い状況が続いております。引き続き、体調管理には充分にお気をつけ下さい。

また、台湾東部の花蓮地区で、大きな地震がありました。台北は震度2で、大きな被害はなかったようですが、東日本、熊本震災で、最も早く多くの支援を寄せて頂いた台湾です。台北稻江RC宛にとり急ぎお見舞のFAXを入れさせて頂きました。

さて、2月は「平和と紛争予防／紛争解決」月間となっております。この命題は、あまりにも大きく重い課題であり、ロータリーの関わりが非常に難しい分野であると思いますが、国際ロータリーでは、6つの重点分野がかかっています。1. 平和と紛争防止 2. 疾病予防と治療 3. 水と衛生 4. 母子の健康 5. 基本的教育と識字率向上 6. 経済と地域社会の発展 です。これらは、相互に因果関係があり、それぞれの解決が、全体の解決につながるものではありませんが、そう簡単にできるも

のではありません。しかしながら、ロータリー・ロータリアンができることを地道に考え、行動を起こすことは、「千里の道の一步から」の例えのように、少しずつ歩みを進めていくことこそ、大切なことではないかと思えます。とありました。

そこで、当クラブの近年の国際奉仕事業を振り返ってみますと、まずは、宮原会長年度に当クラブが初めての世話クラブとなって受け入れた米山奨学生、ベトナムのブ・ゴク・チェン君とその指導教諭を務められた崇城大学の西村教授との御縁で、山賀会長年度に、ベトナムの古都、フエ市の小学校にパソコン、プロジェクター等を送る「ベトナム情報機器支援事業」をおこないました。子供達の先進的な教育に寄与し、それが、その国とその地域社会の発展につながり、また国と国との友好を深める有意義な事業だったと思えます。

次に渡辺会長年度に実施しました、「タイ・アカ族 識字率向上ボランティア(夢の家)支援事業」です。去年10/8に人吉で開催されました、「輝く瞳に会いに行こう」全国大会や、渡辺年度の忘年会で、原田義之先生のお話を聞かれた方はよくおわかりとは思いますが、タイ北部(ラオス、ミャンマーと接する地域)のアカ族の子供達に教育機会を与える為に、学校の近くに寄宿舎(夢の家)を作り、その運営全般を支援する事業です。当クラブからは、寄宿舎間の渡り廊下の建築のお手伝いをしましたが、全国のクラブからも様々な支援が寄せられています。(例えば、飲料水のタンク等)まさに「基本的教育と識字率向上」「水と衛生」等、国際ロータリーの国際奉仕活動の典型たるものです。これもまた、ロータリー、ロータリアンとして、有意義な価値のある事業だったと思っております。世界中に紛争がたえない理由は、人種、宗教、領土等、多くの原因がありますが、私は、最も大きな要因は「貧困」だと思います。人として生きる為の最低限の保障(食糧や健康等)が無い、貧困であるがゆえに、それから抜け出す為の読み書きや教育を受けることができない多くの人達がいます。ロータリーには「ポリオプラス」等の、疾病対策のすばらしいプログラムがありますが、生きる為の「水と衛生」、より良く生きる為の子供達への「基本的教

育と識字率向上」等、これまでも世界中のロータリアンが努力してきた事ですが、人としてロータリアンとして、私達はこれからも国際奉仕事業にたずさわって行くことは必要で大事なことだと思います。しかしながら、この二つの事業については、当クラブ内でも「遠くの国際奉仕も大事ではあるが、地元にも多くの支援を必要とする事業（例えば母子家庭等の就学支援等）があるのではないか」というご意見もたくさんありました。もちろん、その地元に対する貢献事業として「命のロータリーキッチンカー」事業や本日 鳥井委員長から「人吉RC奨学基金」の奨学生が発表されますが、当クラブ独自のこの事業は、全国のロータリークラブに誇れる素晴らしい社会奉仕、青少年奉仕を兼ねそなえた事業だと思えます。人吉RCは、その60年の歴史の中で、種々の素晴らしい奉仕事業を企画、実施し、継続させてきております。ロータリーの4大奉仕である「職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕」のそれぞれの分野において、これからも「入りて学び。出でて奉仕せよ」を实践してまいりたいと思えます。宜しく御願ひ致します。これで会長の時間を終わります。ありがとうございました。

幹事報告

幹事 石蔵尚之

(連絡事項)

- 2018～2019年度版ロータリー手帳の申し込みを受け付けます。(原材料の高騰によりジャバラ式カレンダーと住所録は廃止) → 回覧
- 例会変更と取り止めのお知らせ。熊本東RCより新会員歓迎会のため27日→28日19時「松屋本館」。八代東RCより白百合学園高校インターアクトクラブ卒業例会のため22日17時半より「八代初代パレス」。熊本北RCより親睦例会のため22日→15日18時半より「割烹笹のや」。人吉中央RCより創立記念例会のため14日18時半に時間変更 → 掲示
- 熊本菊南RC創立30周年記念誌、2018年改訂版「R財団ハートブック」、指宿RC週報、人吉医療センター広報誌「翔」1月号が届きました。→ 回覧
- 2月6日台湾東部の花蓮地域を震源とする地震発生を受け、昨日当クラブから台北稻江RCへ取り急ぎお見舞いのメールを送りました。
- 2018～2019年度地区研修・協議会は4月8日(日)ホルトホール大分で開かれます。次年度の出席義務委員長の皆様には宜しく御願ひします。新堀副幹事にお渡しします。
- 来週、2月16日は例会取り止め。次回は23日の職場訪問例会となります。訪問先の特別養護老人ホーム千寿園様には高齢の方が多数入所されており、委員会でマスクを準備いたしますが、インフルエンザに罹患している方ご家族などに罹患されている方がいらっしゃる場合ご配慮をお願いします。当日は王辰寧さんが出席する最終例会です。夜にはひまわり亭で送別会も予定しております。
- 2月17日は地区出向者研修セミナーに安達・中川・渡辺会員が出席。安達会員は翌18日第31回大分グループ留学生交流会にも参加されます。同じ18日は大津町の仮設住宅にキッチンカーで炊き出しを行います。宜しく御願ひします。

≪ 寄付の申し出 ≫



宮原和広会員より「長女の結婚を記念して」R財団、米山記念奨学会、人吉RC奨学基金委員会へご寄付がありました。

出席率報告

委員長 原田知一郎

会 員 数	63名	本日の出席率	
出 席 免 除	1名	71.43%	
欠 席 者 数	18名	1 / 2 6 例 会	79.37%
出 席 者 数	44名	補 填 数	0名
免除会員出席者数	1名	修 正 出 席 率	79.37%

*届け出欠席 山本・渡辺・和田・安達・中村・竹長・北
小林清・山口・増田・板崎・尾上・有村・淵田・堀川・岩下
村山・岡

出席免除会員 (b) 愛甲

会務報告

【キッチンカー管理運営委員会】 委員長 本田 節

キッチンカー2月の案内です。今月は18日(日)に先月雪で立野の「どんどや」に出来なかった人たちのために大津の仮設住宅へ向います。毎回奥様方にも参加して頂き交流して頂いております。どうぞ皆様も一緒に行ってお声かけして頂ければと思っております。今回は今後キッチンカーを有効に活用するためローターアクトへも声かけをします。

この復興支援事業は「ガバナー特別賞」に選定され、3/17地区大会において活動内容をステージで発表いたします。人吉RC全体としての喜びと奉仕活動を大会の皆様へアピールしたいと思っております。どうか皆様宜しく御願ひいたします。

【半期決算 会計報告】

会計 宮崎智弘

2017-2018年度半期の会計決算報告

【半期決算 監査報告】

監査 馬水慎哉

人吉ロータリークラブ2017～2018年度一般会計、特別会計、人吉RC奨学金基金、友愛基金の半期決算書について2018年2月7日(水)堤 正博監査と共に会計監査を行いました結果、全て適正であると認めます。

【人吉RC奨学基金委員会】

第4期 奨学生決定報告・紹介

委員長 鳥井正徳

人吉RC奨学基金委員会が提出しました新年度奨学生(第4期生)6名が2月2日理事会で決定されました。配布しました資料人吉高校4名球磨工業高校2名の推薦内容と生徒の作文を紹介いたします。たいへん優秀な生徒たちばかりです。今後も奨学基金へのご協力を宜しく御願ひいたします。

【R財団委員会】

ロータリー財団

補助金管理セミナー 報告

会長エレクト 有馬宏昭



日 時：平成30年1月27日(土)13時～16時

場 所：大分市ホルトホール大分大会議室

参加者：井手会長、和田R財団委員長

川崎誠治地区補助金委員長から地区補助金の支給基準及び手続の仕方、林明ポリオプラス・VTT/奨学金委員長からグローバル補助金について分かり易く説明いただきました。

RIのロータリー財団は1917年に基金として発足。2017年の100周年を迎えるにあたり、財団の在り方を再検討、2013～2014年度から未来の夢計画として新たなシステムでスタートしております。

未来の夢計画の目的

1. 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化した。
2. ロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。
3. 世界的目標と地元の目標の両方に資金を提供すること。
4. 意思決定権を地区とクラブに移行し、ロータリー財団が自分たちのものであるという意識を高めること。
5. ロータリー財団の活動に対する理解を高め、ロータリーの公共イメージを高めること。

内容：支給基準の絶対条件 1（絶対条件）

1. ロータリー財団の使命に関連していること。
健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。
2. ロータリアンが積極的に関与すること。

支給基準の絶対条件 2（絶対条件）

- ① 地区補助金管理セミナーに参加
- ② MOU（覚書）と各種書類の期限内提出
- ③ ロータリー財団の使命に沿った事業であること
- ④ 「授与と受託の条件」に沿っていること。
- ⑤ 補助金額が総予算の半分以上であること。
- ⑥ 年次基金の寄付額が0クラブは無資格。
- ⑦ 申請事業は各クラブ1事業とする。
- ⑧ 補助金の千円未満は切り捨て。
- ⑨ 補助金申請額が地区の総予算を超えた場合は、地区のR財団補助金審議監査委員会にて議論し決定する。

【雑誌委員会】

紹介；平田フク会員

ロータリーの友 2月号の紹介

横組み

P10「平和の尊さを知り、伝える」

特攻隊員に思いをはせー「平和の花束2017」開催
太平洋戦争 特攻隊員出撃の歴史を持つ鹿児島県鹿屋市 平和へのメッセージ 小学6年生
「平和について考えるきっかけに」

P22「World Roundup」世界のロータリーニュース

- ・カンボジア（ハワイ ポイプビーチRC）
狂犬病の予防接種
（犬かみつき事故年60万件）

- ・ナイジェリア（ジョスティンシティRC）

避難民へ奨学金制度創設

- ・ニュージーランド（ナモツRC）

クラブの慈善信託で管理する高齢者向けア
パート改装工事・備品の管理

人吉RCの高校生奨学金もこれに並ぶ素晴らしいもの
です。

縦組みP18「楽しい男の料理」

待って食するだけでなく、チャレンジしてみる価値
のある面白い世界である。

【ロータリー情報委員会】

委員長 中島博之



米山記念奨学会



日本のロータリーは海外からの留学生を支援しています。2017～2018年度は財団設立50周年です。ロータリー米山記念奨学会のシンボルマークは重なり合うハートはロータリアンと留学生です。手は、当事業がロータリアンの手で支えられている事をしめています。

- ・米山記念奨学会の誕生

米山奨学事業は日本最古のロータリーの創立に貢献した米山梅吉氏の貢献を記念して発足したものです。1952年（昭和27年）に東京RCで始められたこの事業は、やがて日本全クラブの共同事業に発展していきました。1967年（昭和47年）に文部省（現在の文部科学省）の許可を得て財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。

- ・ロータリー米山記念奨学会とは？

日本ロータリー独自の、世界に誇れる事業です。公益財団法人米山記念奨学会は、勉学、研究の為に日本に在留している私費外国人留学生に対して日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し、支援する民間の奨学団体です。

- ・私たちが米山奨学会へ

（人吉RC）一人 前期2000円、後期2000円
100万ドル食事（※）から一人2000円
合計6000円と、米山カードで頂いた分、米山に特別
寄付して頂いた分

※100万ドル食事とは、豪華な食事では有りません。
ロータリー会員が50万人の頃、一食あたり2ドル節約
（粗食にして）50万人×2ドル＝100万ドルの資金を
積立て、社会奉仕・国際奉仕などの活動資金に繰入れ
活用してきました。国際ロータリー会員の推移から
すると50万人は1960年頃（昭和35年）、すばらしい
アイデアですね、100万ドルが集まるのですから。
100万ドル＝3億6000万円（当時360円の固定）
昭和35年…大学卒の初任給は男性13,080円平均、女
性12,520円平均

- ・米山奨学会その目的は

将来奨学生の母国と日本との懸け橋となって国際社
会で活躍出来る優秀な留学生を奨学する事を目的と
する。優秀な留学生とは…学業：異文化：コミュニ
ケーション能力に対する意欲や能力に優れる点を持
ち合わせる。

米山奨学生の採用数は、当初は年間800人(枠)、現在年間720人(枠) 国内では民間最大です。奨学金支援だけでなく独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援が国際ロータリーの特徴です。

人吉クラブは2回目の世話クラブになっています。本田節(平成28年度60代会長)宮原和宏(平成23年第55代会長)がカウンセラーとなって毎月来訪している王辰寧(熊本大学4年生)さんを3月までお世話していただきます。



辰寧さん(中国)熊本大学院:博士課程 社会科学 人間社会科学

人吉クラブは世話クラブとしては2回目ですが、米山奨学生を人吉クラブに招待し奨学生との交流は25年前から実施してきました第1回目は1992年(平成4年)でした。第1回目(山田勝彦会長:右田4年10月23~24日)1泊2日の招待でした。第10回(平成15年)まで1泊2日でしたが第11回から学生側の事情で日帰りとなりました。これまでは、大学の所在地にあるロータリークラブが奨学生の世話クラブとなっていました。2012年(平成24年)人吉RC第19回目に大学所在地以外のRCが世話クラブになったのは、人吉クラブが最初と聞いています。それは、交通機関の発達で、容易に日帰りできるようになったから世話クラブを認められたのでしょうか。今では、人吉中央RC多良木RCなども世話クラブとして頑張っておられます。人吉RCとして第1回目の世話クラブは2012年(平成24年)第19回目の(山賀勝彦会長 浅野 強幹事 片岡啓一米山委員長)

奨学生は、ブ・ゴク・チェン君(崇城大学 国籍:ベトナム)の時でした。卒業後は日本で就職しましたが、現在はベトナムに帰り日本への留学生のお世話をしていると聞いています。米山奨学会の目的である両国の懸け橋となる・・・。お世話したチェン君が米山をしっかり理解し活躍していることに誇りを感じますね!!



世界平和を願ってなぜ留学生支援なのか? 世界平和を願い、それを アジアに、そして世界に理解してもらうには、一人でも多くの留学生を迎え入れ平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築く事それが、日本ロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか? 事業創設の背景には、これがあつたと思います。事業創設から60年余の歳月がながれましたが民間外交として「世界に平和の種子を蒔く」という米山奨学事業の使命は一貫して変わっていません。その使命は、ますます重要性を増しているのではないのでしょうか。留学生への支援は未来に向かって平和の懸け橋となる尊い奉仕なのです。

・米山記念奨学金の種類

通常の奨学金

学部課程ロータリー米山記念奨学金(YU)月額10万円

修士課程(YM)月額14万円

博士課程(YD)月額14万円

地区奨励 米山記念奨学金

大学・大学院以外の高等教育機関を対象 月額7万円 特殊な奨学金

クラブ支援米山奨学金

博士号取得や、進級:進学する奨学生のために世話クラブが支える延長制度

学生部月額10万円 大学院生月額14万円

海外応募者対象 米山奨学金

海外に居住する日本留学希望者が応募できる制度

学生部月額10万円 大学院生月額14万円

初年度のみ年額40万円を補助する。

これまで支援してきた奨学生は18,648人 2015年7月

奨学金をうけた人

①中国 6,636人 ②韓国4,423人 ③台湾3,463人

④マレーシア921人 ⑤ベトナム900人

⑥インドネシア398人 ⑦バングラデシュ326人

⑧タイ323人 ⑨スリランカ257人 ⑩モンゴル247人

(10ヶ国17,894人) 総合計19,808人

・世話クラブとは

現在国内には、2,300のクラブがあります

その内、1つのクラブが、一人の奨学生の「世話クラブ」となります。選ばれた米山奨学生は世話クラブの例会に月に1度は出席し、ロータリー会員と積極的に交流して相互理解を深め、ロータリーの奉仕の心を学びます。

・カウンセラーとは

奨学生一人に対し、世話クラブのロータリアンの中から一人がカウンセラーとなります。奨学生の個人的 ケアにあたるアドバイザーです。

・世話クラブで行われること

米山奨学生は月に1回は例会に出席し奨学金を受け取りスピーチその他、親睦活動・奉仕活動への参加。

・2720地区(大分、熊本)

毎年名の奨学生を採用しています。2720地区内の大学で学んでいます。最初の台湾の奨学生は米山の理想とする目的に応え帰国して両国の懸け橋となり奨学生時の希望を叶えて今では、逆に日本の学生を自国(台湾)に留学させるまでになっています。

公益財団法人として米山記念奨学会が発足して50年でこの様な成果を見届けることが出来ました。この様な成果を出せる国が増える事を願っています。

米山記念奨学会についてのお話でした。

次回はポリオの予定です。

【寄付カード】

ニコニコ箱委員会 丸尾 孜

(ニコニコ箱委員会)

・井手会長 半期決算 会計、監査の皆様、お世話になりました。中島ロータリー情報委員長卓話ありがとうございました。宮原パスト会長、お嬢様の御結婚おめでとうございました。

・漆野会員 先日は塚本会員、今月は平田会員と委員会外の方に友紹介をして頂きました。お世話になりました。

・葉山会員 職業奉仕のため早退します。

点 鐘 井手富浩 会長